

## 報 告 第 2 号

### 知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加への対応について

知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加に伴う施設の大規模化、狭隘化等の改善、解消に向けた対応について、別添のとおりご報告します。

# 知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加への対応

## 特別支援教育課

### 取組の概要

○**県中央部の知的障害特別支援学校の児童生徒数の増加傾向に対応した適切な対策を講じる。**

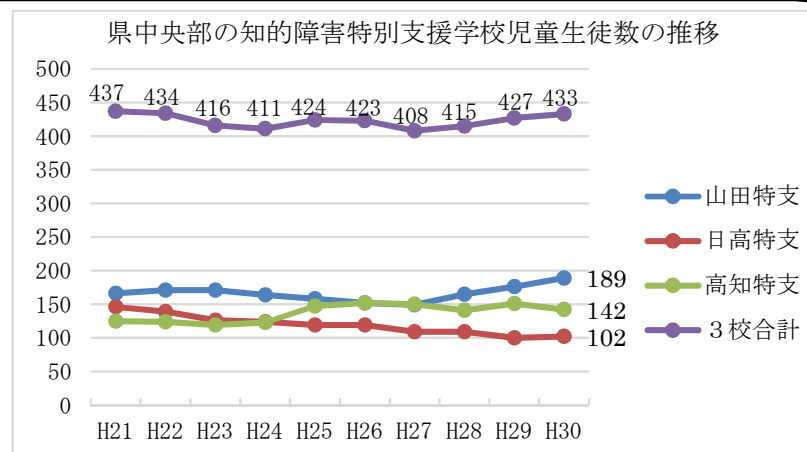
※ 知的障害児童生徒数の増加の要因や、特別支援学校への入学者の動向などを見極めながら、将来を見据えた抜本的な改善、解消の方策について、関係市町村とも連携し、検討を進める。

### 現状

- 県中央部の知的障害特別支援学校の児童生徒数が増加し、特別支援学校では、校舎等が狭隘化している。
- 山田特別支援学校、高知特別支援学校では、これ以上の教室増設、校舎の増築などに対応ができない。

#### 【知的障害特別支援学校児童生徒数の増加要因】

- ① 保護者、関係者等に知的障害や特別支援教育に関する理解や専門的な教育へのニーズが高まり、県立学校では小学部段階など早期からの入学者が増加している。
- ② 小・中学校の知的障害特別支援学級の児童生徒数が増加傾向にある。 など



### 課題

○県中央部の知的障害特別支援学校の児童生徒数が増加しており、大規模化とともに、施設等が狭隘化している。

#### 【山田特別支援学校】

- ・ 特別教室を普通教室に転用している。  
H28～30 特別教室 4 室→普通教室 6 室に転用
- ・ 職員増により職員室も狭くなり、職員会議は食堂で実施。

○ 将来を見据えた抜本的な改善・解消の方策については、関係市町村の意見を聞きながら、総合的・計画的な取組の推進が必要。

### 今後の取組

#### ◆特別支援学校のあり方に関する検討委員会（仮）の開催

- 検討委員会 10名程度（大学教員、関係機関職員、市町村教育委員会、保護者代表、教育関係者 等）  
 会議開催 4回程度（R元. 6～R元. 11）  
 検討内容 県中央部にある知的障害特別支援学校について
- ・ 知的障害特別支援学校に入学を希望する児童生徒の増加要因や今後の推移
  - ・ 知的障害特別支援学校の規模の適正化や教育環境の整備についての方策について

